

新型コロナウイルス感染症 次のステージへ PCR検査体制のあるべき姿とは



自由民主党西東京市議団 富永 雄二

問 新型コロナウイルス感染症の第3波が到来していると言われている。これを受けてPCR検査のあり方について改めて議論が活発になってきているが、本市の検査体制についての見解を改めて問う。

答 西東京市医師会にPCR検査センターを開設していただき、検査は原則かかりつけ医との連携で運用されているが、かかりつけ医のいない方も市内のいずれの医療機関でもご相談いただける体制になっている。さらに多摩小平保健所では、全ての濃厚接触者について検査を行うことになっている。引き続き地域医療体制の確保を図って行く。

問 2019年の国際学習到達度調査(PISA)によれば日本の子どもたちの読解力の順位が8位から15位に下がっている。見解を問う。

答 朝読書や読書マラソンを実施して読書活動を推進し、少人数習熟度別学習等を実施している。今後も基本的な文章を読み解く力を含め、確かな学力の定着に向けて努めていく。

その他質問

- ◇今後の財政の方向性
- ◇西東京市GIGAスクール構想基本方針
- ◇公民館の運営



子どもたちの未来に向けて 地域で学校を支える



自由民主党西東京市議団 中川 清志

問 主体的、対話的で深い学びを進めていくためには、教育委員会として、どのように学校に対する支援をしていくのか。また、子どもたちが自分で課題を見つけ、過去の歴史を知り、課題解決の方法を見つけていくためには、家庭、地域との連携はどのように進めていくのか。

答 これまで教員が取り組んできた実践から、より「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点に立った授業を展開するという視点をもって改善を図ることは必要であると考える。学校訪問や校内研究等での指導・助言や授業改善に資する研修会の実施など「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け学校に対して支援を継続していく。子ども条例において、地域全体で子どもの育ちを守り支えることが示されていると

もに、子どもの意見を尊重することが明記されている。今回の学習指導要領においては、「社会に開かれた教育課程」の実現によって、よりよい学校教育を通してよりよい社会をつくるという理念を、学校と家庭・地域社会が共有していくことが求められる。子ども条例の趣旨を踏まえ、よりよい学校教育の実現に向けて今後も指導・助言を行っていく。



市民の安全・安心を守る！ コロナ感染症対策に全力で取り組み！



自由民主党西東京市議団 酒井 ごう一郎

コロナ感染症対策

問 国や都の19億円を超える補助金を活用し、命や健康を守ると同時に市内経済の回復に必要な予算を投じてきた。新たな政策の考え方は。

答 家賃補助事業、応援資金助成事業の創設をした。今後供給が見込まれるワクチン接種の体制づくりも進めていく。

切れ目のない支援と情報発信

問 子育て世代包括支援センターが開設され、妊娠期からのコンシェルジュ機能に期待している。センターの方向性とアプリの登録状況は。

答 子育て関連施設などの地域基盤と連携を図りながら、面的整備を進め、地域とのつながりの構築を行う。

意見 アプリ構築について担当の保健師がこれまで聞いた市民の声を反映したことが重要だ。市民の感覚、

ニーズに視点を置いてほしい。

西東京プレミアム応援券事業

問 西東京商工会と連携し、市民の皆様が幅広く利用できる仕組みを構築した。市民の方々からの意見は。

答 この機会を通してお店を応援したいとの声や販売セット数が足りなかった等の意見があった。

意見 来年度も事業者支援を強く要望する。



子育て応援アプリ「いこいこ」

行政の縦割り、既得権益、悪しき前例主義を打ち砕いて規制改革を！！



自由民主党西東京市議団 浜中 のりかた

行政手続の押印廃止を！

問 河野大臣が約1万5,000種類ある行政手続上の押印の原則廃止を求め、99%が廃止される方向になった。本市における取り組み状況は。

答 既に多くの部署で、自署による提出により押印を求めない取り扱いをしている。市民の負担軽減、窓口サービス改善、行政手続のデジタル化の一環として国の動向を注視する。

小中学校に1人1台のタブレット端末の導入を実現！

問 改めて本市のGIGAスクール構想について問う。

答 1人1台のタブレット端末を用いて子どもたちに個別最適化された学びを推進し、不登校対策や特別支援教育、独自の小中一貫教育へもICTの有効活用を目指す。

意見 タブレット端末の導入で基礎

学力が伸びるわけではない。学力向上にICTを大きく役立ててほしい。

ハクビシンから市民を守れ！

問 本市のハクビシン対策は。

答 相談者に餌代を負担していただき、市で捕獲機を設置。捕獲できた場合は処分をする。

意見 ここまで手厚いハクビシン対策をする自治体は少ないと聞いた。引き続き、市民に寄り添ってほしい。



市はもっと明確な意思と考え方を示せ！



自由民主党西東京市議団 稲垣 裕二

問 現時点でなぜ予算編成方針を示さないのか。

答 新型コロナの影響を踏まえ、予算編成への対応について検討する。

30人学級の推進

問 自民党は30人学級の推進を決議した。教育委員会の見解は。

答 国等の動向を注視し、状況に応じた必要な対応を図ってまいりたい。

学校司書の増員を

問 文科省の示している1.5校に1名体制になぜ西東京市はしないのか。

答 1.5校に1名程度の基準は承知しているが、2校に1名の配置により両校の読書活動の良さを生かせる。

問 1.5校に1名でも2校を見ることになる。1.5校に1名にしな理由にはならない。3校に2名にし、学校図書館の小中連携を図るべき。

答 校長会等に意見を聞きながら対

応を考えていく。

石神井川遊歩道に足元灯を

問 東京都に対して足元灯の要望を出しているが、都の対応は。

答 河川の維持管理用通路のため、照明は設置していないと伺っている。

問 ここは通学路。市がしっかりと意思表示すれば、都は占有許可を出すだけだ。もっと能動的に行動せよ。

答 現地調査等の対応を検討する。



学校司書が配置されている学校図書室

学校と教育委員会間で オンライン会議の活用を



自由民主党西東京市議団 保谷 なおみ

問 西東京市における再犯防止の取り組みを問う。

答 更生保護活動への支援、社会を明るくする運動への参加を通じ、犯罪が減り、安全な社会を官民一体となって構築していきたいと考えているが、再犯防止計画の策定等については他市の動向等を調査研究していく。

意見 再犯防止の取り組みに反対する方は誰もいないが、具体的にどうするかとなると、やはり根強い偏見があると言わざるを得ない。

問 文理台公園に隣接する旧東町ポンプ場は、今後どうなるのか。

答 旧東町ポンプ場については、公共施設等マネジメント実行計画において建物敷地部分の有効活用の検討を取り組み項目として位置づけており、今後、公園施設整備との関係も

含め検討したい。

意見 文理台公園は、面積的にさほど広くない。旧東町ポンプ場についても公園の一部とすべき。

問 学校と教育委員会間で、オンライン会議を活用すべきと考えるが、考えを問う。

答 セキュリティー面を考慮した上で、今後、さまざまな課題を整理しながら活用に向けて検討したい。



*子育て応援アプリ「いこいこ」 市の子育て情報をいつでもどこでも手軽に確認ができるアプリ。予防接種スケジュール作成、子育て支援施設や医療機関の検索、お子様の成長記録などさまざまな機能がある。